

◆前回委員会(R6.2.19)の委員からの主な意見と対応状況

【資料1】

担当(分野)	委員からの意見(要約)	委員名	事務局の回答																		
1 中山間	第4期対策のときは協定数が減って困ったという話だったが、第5期対策は効果があったということで、その中身が問題。なぜかということ。ある程度効果が見られたと評価しておいていいのか。検討し、理由をつけるならつけておく必要がある。	酒井委員長	・対策期間の変わり目では、協定数が減る傾向にあるが、第4期対策から第5期対策への移行時は、高齢化等の理由で廃止となった協定もあるものの、指定棚田地域が対象地域に追加されたことにより、射水市、入善町が新たに取組めた事による面積の増である。																		
2 中山間	担い手の在り方についても、本来はもう多様な担い手をいかに入れるかを考える必要がある。農村で生活するため、いろんな仕事を組み合わせ農業にもタッチしていく、そういう担い手をつくっていく段階にもう来ている。国に要望していくような段階ではないか。	酒井委員長	・中山間直払の第6期対策では、複数の集落協定間での活動の連携(ネットワーク化)や統合、多様な組織等の活動への参画により将来に向けて農業生産活動が継続的に進められるための体制づくりを推進することが、体制整備単位の要件となっている。 ・また、食料・農業・農村基本法の改正でも、関係人口も交えて地域に根ざした経済活動が安定的に営まれるよう、官民共創の仕組みの活用が位置づけられた。 ・先般、農山漁村の活性化や関係人口の増加を目指し、民間企業等多くの関係者を巻き込む官民共創の仕組みを活用して農山漁村における地方創生に取り組む「『農山漁村』経済・生活環境創生プラットフォーム」が立ち上がったところ。今後も国の新しい動きを注視してまいりたい。																		
3 多面中山間	中山間でも多面的でも、「事務の簡素化」が必要とのことですが、国等によるAIソフトの開発とかシステム構築による事務作業の半自動化は、どこまで進んでいるのか、現実的なものなのか？	石黒委員	・他県では、事務支援システムを導入し、事務の半自動化が進んでいる。 ・福井県、山口県、福岡県などの独自システムでは、作業日報や収入支出の金銭出納の入力で実施状況報告書等を自動で作成することが可能であり、簡易な入力で利用できるほか、入力のチェック機能により、誤入力を防ぎ、情報の訂正作業の手間を削減することを実現している。 ・当県でも、他県システム及び既存民間システムについて、試行的導入も視野に入れて引き続き研究してまいりたい。																		
4 多面	(多面的機能支払の活動に)年々参加する方が高齢化してきて参加者が少なくなってきたというようなことで、活動エリアの広域化、外部人材の確保、集落のサポーター、ボランティアの募集など、今後、集落外部人材をどう確保していくかが大事ではないか	作井委員	・多面活動にアルバイトとして外部人材を確保するための求人サイトの情報(農林水産省まとめ)や事務員の外部雇用の留意点等の市町村を通じ活動組織へ周知したところである。 ・中山間地域では、とやま農業・農村サポーター制度の利用を積極的に促している。 ・研修会等の場を通じて、参加者が少ない組織や集落には、近隣集落が連携して活動に取り組むことで参加人数を補う、集落間の緩やかな連携の事例紹介を行ったところである。																		
5 多面	単に広域化ではなく、地域、集落を実質的に残す広域化が必要かもしれない	酒井委員長	・広域化は国の要件のハードルが高いと感じている市町村が多いため、いきなり目指すのではなく、緩やかな連携を目指す方針としたところである。																		
6 多面(最終評価)	伝統の行事とか展示とか、料理、特産品などを採算ベースに乗せることが難しく、残していくことを真剣に取り組める人たちが減っている。取り組んでいる者からしてみたら、もっと同じことをしている人たちがどこにいて、どういう手を使って頑張っているかを知りたい。まず具体的に、ここでいう伝統文化が何を指すのか、何を指すのかをはっきりさせていただきたい。そして、それに関する活動をしている団体がどこに、どんな団体があるのかを地域に下ろして調べ、把握していただきたい。	西井委員	・昨年の本委員会で、委員からご提案をいただきました伝統文化の継承について、農村文化の継承の取組みに着目し、活動への参加者の裾野を広げる取組みのヒントをいただき、感謝申し上げます。 ・昨年資料で提供した最終評価の「伝統文化」とは、「農村文化の継承を通じた農村コミュニティの強化」である。 ・具体的には、五穀豊穡祈願や収穫を祝うものなど、農業に由来するものであり、永きにわたり地域の人たちにより受け継がれているものを指している。 ・各活動組織により、取組み内容は異なることから、活動組織の自己評価アンケートの際に、本項目に関する情報収集し、分析・活用することとした。 ・令和5年度実績の情報では、次のような農村文化の継承の取組みを確認したところ。																		
7 多面(最終評価)	生涯学習課や商工会、伝統工芸・特産品に関わる部署、地域に関する出版物からも探せるのではないかと。関係者に声をかけて、結びつきの場所を設けていただきたい	西井委員	<table border="1"> <thead> <tr> <th>市町村</th> <th>活動組織名</th> <th>農村文化の継承活動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>魚津市</td> <td>三ヶ地区環境保全推進協議会</td> <td>農村文化の継承活動として、地域の伝統芸能の踊り「八木節」の継承・練習を行った。</td> </tr> <tr> <td>射水市</td> <td>下条地域資源保全会</td> <td>伝統芸能の獅子舞を青年団が中心となり実施したところ、非農家とのコミュニケーションがとれ、非農家の方にも水路の泥上げに参加してもらえるようになった。</td> </tr> <tr> <td>南砺市</td> <td>松原環境保全協議会</td> <td>農村文化を継承するため、田植え、稲刈り体験を実施し、その稲わらで神社の鳥居のしめ縄を製作し奉納している。田植え稲刈り体験の最終成果品が、集落の神社のしめ縄ということで、地域住民にとって事業が分かり易くなった。</td> </tr> <tr> <td>南砺市</td> <td>小二又地域資源保全会</td> <td>五穀豊穡熱送り太鼓打ち</td> </tr> <tr> <td>南砺市</td> <td>田屋環境保全会</td> <td>熱送り太鼓</td> </tr> </tbody> </table>	市町村	活動組織名	農村文化の継承活動	魚津市	三ヶ地区環境保全推進協議会	農村文化の継承活動として、地域の伝統芸能の踊り「八木節」の継承・練習を行った。	射水市	下条地域資源保全会	伝統芸能の獅子舞を青年団が中心となり実施したところ、非農家とのコミュニケーションがとれ、非農家の方にも水路の泥上げに参加してもらえるようになった。	南砺市	松原環境保全協議会	農村文化を継承するため、田植え、稲刈り体験を実施し、その稲わらで神社の鳥居のしめ縄を製作し奉納している。田植え稲刈り体験の最終成果品が、集落の神社のしめ縄ということで、地域住民にとって事業が分かり易くなった。	南砺市	小二又地域資源保全会	五穀豊穡熱送り太鼓打ち	南砺市	田屋環境保全会	熱送り太鼓
市町村	活動組織名	農村文化の継承活動																			
魚津市	三ヶ地区環境保全推進協議会	農村文化の継承活動として、地域の伝統芸能の踊り「八木節」の継承・練習を行った。																			
射水市	下条地域資源保全会	伝統芸能の獅子舞を青年団が中心となり実施したところ、非農家とのコミュニケーションがとれ、非農家の方にも水路の泥上げに参加してもらえるようになった。																			
南砺市	松原環境保全協議会	農村文化を継承するため、田植え、稲刈り体験を実施し、その稲わらで神社の鳥居のしめ縄を製作し奉納している。田植え稲刈り体験の最終成果品が、集落の神社のしめ縄ということで、地域住民にとって事業が分かり易くなった。																			
南砺市	小二又地域資源保全会	五穀豊穡熱送り太鼓打ち																			
南砺市	田屋環境保全会	熱送り太鼓																			
8 多面(最終評価)	(伝統文化を継承する)団体を、出会いやステップアップ、心意気をつけるために、ファシリテーターの方を呼んでの出会いの会をしてほしい。小さい取組で自分の地域しか見えていない人たちでも力をつけてまたできるのではないかと。	西井委員	・農村文化の継承の取組みの情報を収集し、多面協議会のHPで公開することで、団体同士の情報交換、結びつきの場を作る足掛かりとするとともに、要望に応じて結びつきを促すファシリテーター派遣などの支援をしてまいりたい。																		

	担当 (分野)	委員からの意見(要約)	委員名	事務局の回答																
9	環直	環境保全型農業直接支払は近年、取組はやや停滞。伸び悩む原因の一つが事業対象要件で、組織や一定の条件の農業者に限定される話もあったが、組織、団体で取組をどう増やしたらいいかを、現場の声を聞いて、取組方を工夫できないか	作井委員	・市町村を通じて個人の有機農業実施者にヒアリング及び取組み実施の働きかけをしたところ、団体の設立や加入してまで取組まないとの意見が多数確認されたが、一部の実施者で既存組織に加入し、新規に取組み、約4haの拡大につながった事例もある(黒部市:1件(約1ha)、立山町:1件(約3ha)) ・また、オーガニックビレッジ宣言している富山市や南砺市では、新たに有機農業を志す新規就農者等から相談があった際に、既存の組織を紹介しており、南砺市では令和5年度に1件、約5haの拡大につながった。 ・一方で、担い手の高齢化により、既存組織の維持が困難な組織も多いため、新たな担い手の確保のため、とやま農業未来カレッジ卒業生等への働きかけをするなど、引き続き、関係機関と連携して取り組んでまいりたい。																
10	環直	取組内容が技術的なことが多いとか、それから、国の環境負荷低減のクロスコンプライアンスが令和6年度から施行されるということもあって、やはり施策を推進するところで所管してしっかり進めていくのが効果的ではないのか	作井委員	・有機農業所管の農業技術課と連携して取り組んでいるところである。 ・国において、令和9年度を目途に創設予定の新たな環境直接支払交付金の中で、本事業を見直し、みどりの食料システム法認定農業者による先進的な環境負荷低減の取組を支援することが検討されている。																
11	環直	片方でみどり戦略で一生懸命進めているのに、片方でそんな制度をやっていたら、ちょっとこれから難しいんじゃないのという話をしている。実際に(取組み数が)下がったため、例えば(取組みを)やめたところ理由を確認すること	酒井委員長	・国において、令和9年度を目途に創設される新たな環境直接支払交付金の中で、本事業を見直し、みどりの食料システム法認定農業者による先進的な環境負荷低減の取組を支援することが検討されている。 ・取組みをやめた理由は、要件※を満たさない個人の農業者の申請の取り止めなどによるものであった。 (※要件…環境保全型農業を志向する他の農業者と連携して、環境保全型農業の拡大を目指す取組みを行う農業者(令和5年度廃止))																
12	環直	問題なのは、環境保全型というか、有機農業なんかやっている人は結構個性が強かったりするものだから、なかなか組織で申請するというのが難しいという意見もあると思った。むしろそれでやめたというよりは、そういう組織で数が減ったというほうの意味が大きいですか	酒井委員長	・お見込みとおりです。 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">申請件数</td> <td style="text-align: center;">3件</td> <td style="text-align: center;">⇒</td> <td style="text-align: center;">1件</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">※申請件数が集約され減少</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">A 個人農業者</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">〇〇協議会</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">B 個人農業者</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">C 個人農業者</td> </tr> </table>	申請件数	3件	⇒	1件		※申請件数が集約され減少				A 個人農業者	}	〇〇協議会		B 個人農業者		C 個人農業者
申請件数	3件	⇒	1件																	
	※申請件数が集約され減少																			
	A 個人農業者	}	〇〇協議会																	
	B 個人農業者																			
	C 個人農業者																			
13	環直	富山県の有機農業者の方は割と点でやっている方が多いので、それを要件改正になった際にどう増やすかという、農業法人やJAなど、地域をどう取り込んでやれるか考えていけばよいのではないかと。県知事特認のやり方もあるので、県で広域的にやれる手法はないか	作井委員	・第3期対策では「栽培期間中の化学肥料・化学合成農薬不使用栽培」の追加が検討されていたが、今回追加とならなかった。 ・本県で、「栽培期間中の化学肥料・化学合成農薬不使用栽培」の要望量調査では、取組む意向(約20ha)が確認されたことから、今後、対象取組みとするべく地域特認の申請に向けて情報収集するなど検討を進めてまいりたい。																
14	環直	みどりの戦略があって、みどりの戦略のほうはむしろ市町村を巻き込んでいるわけですよ。オーガニックビレッジとかそういう形で、事業そのものが市町村を巻き込む前提になっているんだけど、直接支払は県が全面的に表に出る制度のため、ずれがあると思う。そこをうまくつなぎながらやっていただきたい。	酒井委員長	・オーガニックビレッジは、市町村が事業主体となり、各地域で有機農業の拡大に向けた「有機農業実施計画」を策定し、試行的に有機農業の生産、流通、加工、消費の取組を行うものである。 ・一方、環境保全型農業直接支払は、農業者の組織する団体等が実施する農業生産に由来する環境負荷の低減に向けた活動の実施に伴う追加的コストを支援するもの【国(1/2)、県(1/4)、市町村(1/4)】である。 ・オーガニックビレッジ宣言している富山市や南砺市では、新たに有機農業を志す新規就農者等から相談があった際に、既存の組織を紹介しており、南砺市では令和5年度に1件、約5haの拡大につながった。 ・一方で、担い手の高齢化により、既存組織の維持が困難な組織も多いため、新たな担い手の確保のため、とやま農業未来カレッジ卒業生等への働きかけをするなど、引き続き、関係機関と連携して取り組んでまいりたい。																
15	都市交流	都市農山漁村交流推進事業について、ワーキングホリデーのような、短期、中期で人の手が欲しい作業が、農業や山手の仕事には時期を密集したものがあがる。実は都会の若者、大学生を中心に、興味がある方がたくさんいるが、今シゴトハックさんぐらいしか(そういった情報を掲載しているものが)ないそうで、ここにそのような仕事の、例えば時給、宿泊情報と併せて募集してほしい。	江尻委員	・県では、令和5年度からグリーンツーリズムとやまに委託して実施している「とやまノームステイ」において、短期・中期の農作業等の人手を求めている農家の皆さんと農作業を体験したいボランティア希望者をマッチングする事業を実施しているところである。 ・このマッチングを実施する際には、事前に食事の提供の有無や宿泊先の提供・周囲の宿泊可能施設についての情報提供も実施しているところである。 ・今後は、2月26日に起ち上げる富山県農山漁村総合サイト「むらまち交流ラボとやま」やLINE公式アカウントでも人材マッチング情報の提供を行っていくこととしており、委員ご指摘のとおり報酬や宿泊情報などきめ細かな情報を提供し、マッチング率を高めていきたい。																
16	農泊	学生たちの様相が随分変わってきている。今、市民の中に混ざって、現場に行って活動したいグループもいろんな大学が増えてきています。人を集めたい、ノームステイなどの登録者を増やしたい、若い力を集めたいのであれば、そういう人たちを探してじかに話をもちかける、つながりを持っていくというのも、昔ながらではあるが、顔が見える、声が聞けるという結びつきの深さも力があって効果がある。	西井委員	・昨年の本委員会で、委員からご提案をいただきましたスマウトを用いて都市農村交流事業のボランティア募集等で実施したところ一定の成果があり感謝申し上げます。 ・今後も引き続き、スマウト等を活用して若者を中心とした農山漁村での活動に興味のある方と農山漁村の皆さんとの橋渡しを進めていきたい。 ・また、県においても令和5年度から富山県立大学の学生や若者を中心として構成される団体の皆さんに、実際に農泊や都市農村交流活動に参加してもらい、広報活動や今後の活動の企画提案を受けたところである。 ・その提案を受けて、現在、SNSを用いた農山漁村での体験等を紹介する短編動画の制作しており、2月26日に起ち上げる富山県農山漁村総合サイト「むらまち交流ラボとやま」やLINE公式アカウントでの情報発信と併せて、若者と農山漁村の皆さんとの橋渡しを進めていきたい。																
17	農泊	南砺市で使っているスマウトという全国の自治体と希望者をマッチングさせるサイトがある。全国の地域おこし協力隊員の8割はスマウトを使って着任されている。これを活用するのも一つの手。プラットフォームに割く予算、があるのであれば、スマウトに情報発信をする代行をするところにも予算を回せるのではないかと。	西井委員																	